

# 技術・家庭科で活用する

## 本場面におけるポイント

- 生活や産業の中で利用されている技術について考える  
技術分野の学習に関するガイダンスにおいて、補助資料として活用して、技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えることができる。
- 家庭と家族関係について考える  
家族について学習する補助資料として活用し考えを記入することで、家族関係をよりよくするためにはどうしたらよいかを考えることができるようにする。
- 家庭生活と地域との関わりについて考える  
体験活動や地域との交流の前後に活用して、家庭生活と地域との関わりを考えることができるようにする。

## ●「生活や産業の中で利用されている技術」について考えるときの活用事例（第1学年）

- 1 題材名 生活や産業の中で利用されている技術（技術分野の学習に関するガイダンス）
- 2 ねらい  
技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割と、技術の進展と環境との関係について関心をもたせる。
- 3 指導計画（4時間）と「心のノート」活用  
  - (1) 技術（テクノロジー）とは（1時間）  
世の中で利用されている技術にはどのようなものがあるか、見つけて分類する。  
材料、加工、エネルギー変換、生物育成、情報等の技術があり、それらにより現在の生活や産業が支えられていることに気付かせる。
  - (2) 日本の伝統的なものづくりの技術（2時間）  
「〇〇寺の五重塔」を例に、日本の伝統的な木材を加工する技術にはどのようなよさがあるのか考える。  
五重塔が地震に強い構造になっていて、その構造は現在の高層建築設計にも利用されていること、緻密な加工により丈夫で美しい建物が作られていること、木材が腐食しても、その部分だけを修繕する技術を利用することで建築物が長持ちしてきたことに気付かせる。さらに、伐採した木材を長期間大切に利用することが、環境負荷を軽減していることにも気付かせる。
  - (3) 技術（テクノロジー）とのつきあい方（1時間）  
木材を加工する技術以外にも、数多くの日本の技術が現代の生活や産業を支えたり、環境保全に役立っていることを教科書や参考資料で確認する。

「心のノート」P.124～P.127を読む。「高層建築」「五重塔」を写真で確認するとともに、葺き替えを行うことで長持ちする家屋や伝統的な板金の技術を利用して作られている新幹線についても確認する。P.126に「優れた日本の伝統や文化」として、特に素晴らしいと感じた技術について記入する。



中学校用P.126～127

## 家族・家庭と子どもの成長への考えを深める「心のノート」

## ●「よりよい家庭と家族関係」について考えるときの活用事例（第2学年）

- 1 題材名 わたしと家族
- 2 ねらい  
家庭や家族の基本的な機能について知るとともに、家族関係をよりよくする方法を考える。
- 3 指導計画（3時間）と「心のノート」活用  
  - (1) 家庭や家族の基本的な機能について考える。（1時間）  
資料や新聞等を利用して家庭の役割を考え、発表する。
  - (2) 家族関係をよりよくする方法を考える。（2時間）  
家族関係をよりよくするために、家族の一員として何が出来るかを具体的に考える。

・「心のノート」P.114～115を読み、自分の理想の家庭を考えて「心のノート」P.115に記述し、それをもとにして発表や話し合いを行う。



中学校用P.114～115

## ●家庭生活と地域との関わりを考えるときの活用事例（第3学年）

- 1 題材名 家庭生活と地域
- 2 ねらい  
家庭生活は地域の人々とのつながりの中で成り立っていることに気づき、地域との関わりについて考える。
- 3 指導計画（4時間）と「心のノート」活用  
  - (1) 地域の様々な人々との関わりや社会連帯について考える。（1時間）  
⇒ 考えたことを「心のノート」P.98に記入する。
  - (2) 地域の活動や行事等を調査したり、様々な人々と関わったりする。（2時間）
  - (3) 地域の幼稚園や保育所、高齢者施設等での活動を振り返り、話し合う。（1時間）  
⇒ 学んだことを「心のノート」P.99に記録する。

保育園実習を通して幼児の遊びの役割と知り、保育士に話を聞いて自分かてきる幼児とのかかわりを考えたい。 ○○年□月△日

中学校用P.98の子どもの記述

保育園実習で社会連帯の仕方を二つ学んだ。一つは保育士のように仕事としてやること。二つめは幼児と遊ぶことのように簡単なことと実際にやってみると、そして一歩前にはにかたやること。 ○○年△月□日

中学校用P.99の子どもの記述

# 保健体育科で活用する

## 本場面におけるポイント

- 健康な生活と疾病の予防について理解する授業で「心のノート」を活用する  
とくに、「生活行動・生活習慣と健康」の授業で活用する。
- 自主的に踊るダンスの楽しさや喜びを味わえるように、「心のノート」を活用する  
とくに、フォークダンスの授業で活用する。



## ●健康な生活と疾病の予防について理解する授業での活用(第3学年)

- 1 単元名 生活行動・生活習慣と健康
- 2 目標  
健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること、また、生活習慣の乱れは生活習慣病などの要因となることを理解する。
- 3 単元展開の構想(全4時間)

子どもの意識と学習活動	教師のはたらきかけ
1 心身の健康について考える。 ○今の自分の生活について考える。 ・基本的な生活習慣は乱れていませんか？ ・投げやりになつたりしていませんか？ ・心のコントロールができていますか？ ○教師の発問により、以下の4点を考える。 ・公生活と健康 ・運動と健康 ・休養及び睡眠と健康 ・調和のとれた生活と生活習慣病	1 「心のノート」を授業の導入で活用する。 ○今の自分の生活を見つめる。 ◆「心のノート」P.19の活用 自分の生活習慣を見つめ直し、基本的な生活習慣が乱れ、投げやりな生活になっていないか考える。 ○基本的な生活習慣の確立の大切さや健康に影響を及ぼす夜更かし、ダイエット、運動不足等に触れて考えさせる。
2 基本的な生活習慣について考える。 ○保健の授業を通して、感じたことを次の点に留意して考える。 ・基本的な生活習慣の確立が、体だけでなく心にも多大な影響を与えていること。 ・反省すべき点は反省し、改善できる範囲で改善していく努力をすること。	2 生活習慣について学習する。 ○感じたことをP.18にまとめる。 ◆「心のノート」P.18の活用 保健の授業で考えたことを「心のノート」に書き留める。これまでの自分を振り返り、考えさせる。

### 4 「心のノート」活用の実際

子どもが自分の生活習慣を見つめ直し、「心のノート」に記入した欄へは教師が必ずコメントを書き加えるようにする。生活習慣を見つめることは、子どもにとって大切なことである。教師と共に考え、改善していくテーマもあるので、子どもと教師が共に協力していくような内容を記述するよう心掛けたい。




「心のノート」記入例

## 心身の発達を心の健康に生かす

### ●自主的に踊るダンスの楽しさや喜びを味わう授業での活用(第3学年)

- 1 単元名 フォークダンス(ソーラン節)
- 2 目標  
子どもが自主的にフォークダンス(ソーラン節)に取り組み、踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊れるようにする。
- 3 単元展開の構想(全8時間)

子どもの意識と学習活動	教師のはたらきかけ
1 自主的に取り組むことについて考える。 ○自主的に取り組む中で、互いの違いやよさを認め合おうとすることや、自らの責任を果たそうとすること、健康・安全を確保することなどができるようにする。 2 フォークダンスの授業(ソーラン節) ○文化的背景や情景を思い浮かべて、音楽に合わせてみんなで踊って交流して楽しむことができるようにする。ステップや動き方、音楽、小道具、地域などの踊りに見られる特有の動き等の異なった特徴を捉え表現する。 3 ダンスの交流会を行う。 ○ダンスの発表や交流の際には、これまでの練習の成果が表現できるように意識させる。	1 「心のノート」を授業の導入で活用する。 P.26「中学生だもの 自分で考え判断し実行するのはあたりまえ。」の言葉を読み上げ、主体的に取り組む気持ちを考える。 ○ダンスの練習風景  3 「心のノート」の活用 ・ダンスの交流後には、「心のノート」P.119「後輩に伝えていきたいこと」に記入させる。

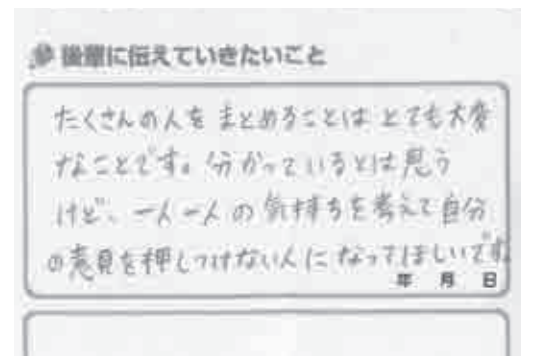
### 4 ダンス(ソーラン節)練習の留意点

・子どもが自主的に練習できないときには、「心のノート」の関連ページを提示し、子どもの意識を高めていきたい。

### 5 「心のノート」活用の実際

フォークダンス(ソーラン節)発表後、ある子どもは「心のノート」P.119「後輩に伝えていきたいこと」に右のような記入をした。

子どもにとって、ダンス(ソーラン節)の発表は、感動の残る発表ではあったが、「心のノート」に記述することにより、改めて自分の感動を冷静に捉えることができた。このように感動した気持ちを「心のノート」に言葉で表すことにより、これからの自分の生き方につなげていくことができる。



「心のノート」記入例